



本校の特別支援教育について



1 特別支援教育とは

特別支援教育の理念や基本的な考えに基づき、特別支援学級・通常の学級・障害の有無などに関わらず、特別な支援が必要とされる生徒を対象とし、本人、保護者、関係機関と連携しながら組織で支援していくものです。

2 本校の特別支援教育について

本校では、様々な要因で特別な支援を必要としている生徒が生活や学習上の困難さを改善、克服するために、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、本人の自立や社会参加に向けていくために、校内支援体制を整え、適切な指導や必要な支援を行っています。

(1) 校内支援委員会や小支援委員会の開催

個々の生徒に必要な支援やその方法を検討し、個別の指導計画を作成して支援したり、外部機関と連携したりして支援しています。

(2) スクールカウンセラー(SC)の活用

保護者との面談、生徒との面談、学級担任との面談等を通して、専門的な見解を元に個々に応じた支援に当たっています。SCは、毎週金曜日に学校園の各小・中学校を訪問しています。中学校には、隔週の金曜日に月2回程度訪問します。ご利用の際は、学級担任までお声掛けください。

(3) 「かがやきルーム」の開設

学習面での支援に関しては、かがやきルームを開設し、別室での個別指導や所属学級での複数教員による指導(チームティーチング)を行っています。ご利用の際は、学級担任までお声掛けください。

3 本校の特別支援学級について

本校では、支援を有する生徒が、将来、積極的に社会参加・社会貢献していくことができる共生社会の形成に向け、本人の自立や社会参加を見据えて、通常の学級の生徒と同じ場で共に学ぶ機会の設定や個々の教育的ニーズに的確に応えた指導を提供するインクルーシブ(包括的)教育システムに基づいた支援をしています。その際に、個々の教育的ニーズに基づいた「合理的配慮」の提供を推進しています。(知的学級1学級・自閉症情緒学級1学級設置)
＜具体的な方策＞

- (1) 本人や保護者個々のニーズに応じた交流および共同学習の提供
- (2) 本人や保護者個々のニーズに応じた個別学習の実施
- (3) 特別支援学級での授業における通常の学級教員からの授業支援
- (4) 本人や保護者個々のニーズに応じた支援による、学校、学級、および、市内特別支援学級合同行事等への参加
- (5) 特別支援学級内での学級種別を超えた交流、並びに小集団活動による社会性の育成
- (6) 合理的配慮の提供
- (7) 個別の指導計画や日々の支援記録等を活用した支援の充実

